

第24回多可町子ども・子育て会議 記録

日時	令和3年9月7日（月） 15:00～16:13
場所	多可町役場 特別会議室
参加者	<p>●委員</p> <p>出席：鈴木会長、仲田副会長、藤岡委員、杉原誠委員 杉原光委員、数原委員、高橋委員、清水谷委員 藤本泰委員、原委員、日下部委員、藤本市委員 松本委員、岡本委員</p> <p>●事務局</p> <p>越川教育長、こども未来課 足立課長、杉原課長補佐、市位</p>
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 教育長あいさつ 3. 委嘱状交付 4. 自己紹介 5. 会長・副会長の選出 6. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 第2次多可町教育ビジョン・令和3年度多可町教育方針及び主要施策について 2) 町内保育園部・幼稚園部在籍数について 3) 放課後児童クラブ事業の利用状況について 4) 公私連携による両キッズランドの運営状況について 5) その他 7. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) キッズランドやちよ利用定員の変更について 2) 通園バス運行について 8. その他 9. 閉会
資料	・第24回多可町子ども・子育て会議資料

1. 開会

2. 教育長あいさつ

みなさん、こんにちは。今日は、第24回目となります、子ども・子育て会議のご案内をさせていただきましたところ、公私何かとお忙しいところお集まりただきまして、ありがとうございます。平素は、小学就学前の教育・保育の充実それから、子育て支援の充実に向けて、何かとそれぞれのお立場からお力添いをいただいておりますこと、この場をお借りしまして、厚くお礼申しあげます。ありがとうございます。さて、新型コロナウイルス変異株の猛威によりまして、全国的にさまざまところに影響がでております。この、子ども・子育て会議も当初は、5月に開催予定をしておりましたが、その影響を受けて9月になってしまっております。また、全国的に進む少子化の影響で、現在、多可町では中学3年生の子どもが172名おりますが、去年、多可町で生まれられたお子さんの数が66名ということで、4割に満たない数になってしまっております。この会議では、子ども・子育て支援法第77条に基づきまして、子どもたちを取り巻くさまざまな状況環境に応じまして、多可町が行う施策のより一層の充実に向けまして、ご審議いただく会議となっております。本日は、こども園の定数の状況についてお話し合いをしていただきますのと同時に、懸案となっております通園バスについてもご審議いただくことになっております。限られた時間ではございますが、中身の濃い議論となりますようにご祈念申しあげまして、開会にあたってのごあいさつとさせていただきます。どうかよろしく願いいたします。

3. 委嘱状交付

各委員に委嘱状を交付。代表で、みどりこども園保護者会代表杉原 誠様に越川教育長から交付された。

4. 自己紹介

各委員から自己紹介

5. 会長・副会長の選出

会長・・・鈴木氏 副会長・・・仲田あつ子氏

6. 報告事項

事務局から説明

1)第2次多可町教育ビジョン・令和3年度多可町教育方針及び主要施策について

別添を事務局より説明。

特に意見なし。

2)町内保育園部・幼稚園部在籍数について

会議資料3ページを、事務局から説明。

【会長】心配ではありますが、全国的な傾向として今年、去年あたりちょっとひかえているということがありますので、その辺も含めながらですが、少し減ってきているみたいです。これについて何か質問、ご意見ありますか。
特になし。

3)放課後児童クラブ事業の利用状況について

会議資料4ページを、事務局より説明。

【会長】まあ、ちょっと減っているということでありましてけれども、授業時間が伸びたんですね。まあ、そういう話もあるということで。希望されているすべてのお子さんについては、提供されているということでありました。
特に質問、意見なし。

4)公私連携による両キッズランドの運営状況について

事務局から現状を報告。

【委員】8月25日キッズランドやちよ3者懇談会が開催され、保護者アンケートは、満足、おおむね満足が多かった。園長さん以下頑張っていたということが、生の声として表れていて良かったと思います。ただ、RSウイルスが流行ったときに保護者への連絡が遅くなったことについての園の対応で、一部では不満もあったが、改善されると園長さんからの前向きな回答がありましたので、これから改善されると思い、期待しています。コロナ禍でありますので、非常に園の行事等がなかなか開催できない中ですが、コロナウイルスが、園の中に入ってしまうと園が休園になって保護者のみなさん等を、助けられない、仕事に行けない。そういうことになってしまうので、今度、運動会も行われますけれども、各家庭から見に来られる方の人数を絞って完全な感染対策をして、という形で進めるという形で、おじいちゃん、おばあちゃん等からもっと見せていきたいという不満もありますけれども、先程言いましたとおり、一端コロナウイルスが入れば、おじいちゃん、おばあちゃんが子どもたちを見ないといけない。という負担をかけて大変なことになってしまうので、そこのところをご理解いただいて、安全、安心な園を創っていくということを園長さんがおっしゃっていましたので、保護者としては、それを信じて、子どもたちが、毎日通える、そういう園であり続けてほしいなと会をまとめました。

【会長】園長先生、良かったですね。よい意見いただいて。これからも、続けていただきたいと思います。キッズランドかみのほうは、まだということですが。保護者会からご意見いただけたらと思いますが。

【委員】3者懇談会の日程が決まっていないです。現在、小学校の運動会も延期という事で聞いています。キッズランドかみの運動会に関しましても、まだ、分

からない状態ではありますが、子どもたちが頑張っている様子も保護者の方から見たいという話を聞いていますが、それでも、やはり、キッズランドやちよの保護者の方も言われておられましたが、新型コロナウイルスをうつさないことが一番大事ですので、そこらへんをちゃんと説明していくことで、理解を得ていくことが必要だと保護者会の3役でも話をしているところです。また、今後、決まってくることもあると思いますので、園と一緒に支援していけたらなと思っています。

【会長】感染が収まればと思います。

5)その他

事務局から事務連絡。

7. 協議事項

事務局から説明

1)キッズランドやちよ利用定員の変更について

会議資料5ページを、事務局より説明。

【会長】事後承諾ということですが、変更申請は提出されているのですか。

【委員】はい。

【会長】何かありますか。

【委員】本当に園児数の減少が、止まるどころなく今年度このようにして、定員の減員変更を諮らせていただいているのですが、来年、再来年と減少傾向が続くのではないかと考えています。ちょっと現状厳しいところもありますので、検討しながら、運営していきたいと思っています。よろしくお願いします。

【会長】ありがとうございます。八千代区で、少し子どもさんが、減っているということですね。コロナが収まって、ちょっと、みんなにこにこしてお子さんをおんぶして、というふうになっていただければと思います。それまでは、しばらくこんな形でということで、ご承認いただけるということでよろしいでしょうか。また、出生が増えることを望みまして、承認ということにさせていただきたいと思えます。

2)通園バス運行について

会議資料4の11ページから13ページを、事務局より説明。

【会長】ちょっと、環境は変わるけれども利用者が減少していますので、これまで、いろいろと協議を重ねられたご提案ということですね。これにつきましては、皆様からご意見を聞きたいと思っています。

【委員】自園でバスを用意するか、これからも、町で走っていただき、通園バスの使用

料を園が払わさせていただくか、いろいろ検討したんですが、今の園児数であれば、いろんなところに出かけるのにバスがあると便利だと思います。通園に関しては、大きなバスはもったいない気がするのですが、これから、子どもが減ってきたときに、たぶん、また、バスのことを考えようかなあと考えております。令和4年度に関しては、大きなバスを用意いただくと助かります。

【会長】ありがとうございます。提案の案でということでもいいですか。

【委員】はい。

【委員】同様ですけれども、通園の利便性もさることながら、保育活動の中でいうとバスを使っているところに行くことが、今、現在の保育ベースにやっていることがたくさんありますので、そこは、覚悟したいなと思いますので、特にプール遊びは、広いプールで遊ばせてもらっています。そんなところなんです。他の市町でもなかなかここまで、されているところはないと思いますので、バスは手放したくはないと思うところはありますので、自園で運行をなんとかできないかなと検討しています。今後、園児の人数につきましては、ここ数年で大きく動きそうな感じですので、それを見込んで、新型とか大型とかについては、検討したいと思います。とりあえずは、今のバスを使わさせていただきたいと考えています。

【会長】ありがとうございます。

【委員】利便性でいうと園外保育に活用させていただいていたので、大変ありがたかったかなと思っています。ただ、安全性、公平性ということからいうと最後まで、町で運行していただきたかったというのが本心です。まあ、こういう流れの中で、これを通していくのは難しいかなと思いましたので、安全性というところで、大変だと思います。自園でということになりますと、運転士さんであったり、園の責任というのがとても大きくなるので、補助金がどのくらいというよりも、負担が大きくなるなあと考えています。こういう流れの中で、いつまでも通すことはできないので、来年4月からは自園で園児数も少ないですので、小さな園にあったサイズのバスを購入に補助金をいただいて運行していこうと思っています。それについては、運転手さんの人材確保が難しいなあとと思います。

【会長】その辺も含めて、町の支援があるといいですね。ありがとうございます。

【委員】地図でもご覧になられて、加美区は南北に長くて、子どもの数は少ないのですが、絶対に通園バスが必要な子どもたちが少なからずいますので、何年か町のほうで、整理をしていただいたことは大変ありがたく思っています。いずれ、キッズランドかみも自園でというふうな話になってきたときに、中区のほうで自園で運行されますので、支援等いろいろなことを聞きながら、検討していきたいと思えます。

【会長】ありがとうございます。

【委員】2年間町で通園バスを残していただいて、ありがたいと思っています。乗車す

る園児は少ないです。大きなバスを少ない園児で走らせるのを非常に申し訳ない気持ちでいます。谷も2つありまして、一番遠い方から利用している園児がいます。このように残していただくと本当にありがたいと思います。このバスがあるので、園外保育で利用させていただくことができ、2年間は、町の援助を受けながら過ごさせていただくことに感謝しています。このバスの件は、法人とも相談しています。この2年間で、どんなふうに移行して運営ができるかどうか、園児も減ってきていますので、乗車する園児の人数も減っていくであろうということで、この1年間どのような流れになるか考えつつ、令和5年の前半までに考えていきたいと思っています。

【会長】ありがとうございます。保護者の皆様から少し通園バスについて、意見を聞きたいと思います。

【委員】前回の通園バス検討会議で計画を伺っています。中区に関しては、自園で運行されると伺っています。そのときも、伺させていただいたのですが、安全の問題であるとか、そのようなところで、不備がでることがあるかもですので、そのあたりは、多可町も協力していただいて、安全に運行できるようにしていただきたいと思っています。

【会長】ありがとうございます。

【委員】うちの子どもなんですが、通園登園は、送り迎えさせていただいているのですが、先程、園長先生がおっしゃったように、プールに行ったりとか、いろんな野外活動に行かさせていただいているところで、子どもたちがバスに乗っているところに行ってきたとか言ってすごく楽しみにしているような感じなんですが、やはり、運営上考えたらこういった会議とか、みなさんで検討しなければいけないのは、致し方ないのかなと思います。先程、おっしゃったみたいに自園で通園バスを持たれるようになったら、バスといっても結構走行距離もあつたりとか、その辺も最初、資料を見させていただいたときに結構、使っておられるのだなというので、そういったところを、多可町さんのほうもやっぱりしっかり管理であつたりとか、こども園で任せるからこども園で面倒みてね。ではなくて、管理はみなさんでしていった安心、安全で活用できるようにこの資料を見て思いました。

【会長】はい。ありがとうございます。結構、走ってますよね。

【委員】キッズランドかみは、現在、3台ですが来年度から2台になる予定になっていますが、実質2台でも走行可能ということで、大変ありがたいと思っています。保護者の方から聞いたのですが、0歳児の方の保護者でちょっと子どもをなかなか送りにくい。という方もおられるので、そのような方で利用したくてもできない方については、個別で相談させていただけたらなという話を聞いていますので、利用していたけど、できなくなることはないように、個別にお話しを聞いて、解決策を探っていけたらなと思っています。

【会長】ありがとうございます。

【委員】キッズランドやちよについては、町のほうで運行していただくということで、先程からお話しがでています安全面についてですが、先日の3者懇談会の中のアンケートの一部にあったのですが、運転手さんか荒っぽい運転をされる方がいて、扉が閉まるか閉まらないかでは、園児がバスに乗るか乗らないかで、バスを発車することがあったようなことがアンケート結果で出ておりました。1台につき約520万円の委託料を支払われていますので、その辺のところ町のほうからも委託業者に対して厳しく言っていただいて、先日、通園バスの中で閉じ込められた痛ましい事故がありました。もしも、通園バスの中で事故があったら、大変ですのでやはりそのようなことがないように、安全面に関しては町のほうからは是非厳しく指導をいただけたらと思います。

【会長】事故は多可町では、ないと信じていますが、やっぱり安全面は非常に大事ですので、保護者のみなさんにご心配かなと思います。その辺りを町は、受けとめていただいてということで、お願いします。

【委員】このバスのことについては、初めて伺ったのですが、1つは、結構年数が経ったバスを乗っておられるのだなと思いました。実際、園外保育などには、非常に活用していただいているということで、いいんじゃないかと思って聞かせていただきました。

【会長】ありがとうございます。プールなんかはほとんどいろんなところで中止ということで、一切しないという園がある中で、いろんなところに行って、活用ができていいなと思います。

【委員】このバスは、町の所有ですか。

【事務局】中区と加美区の合計5台は、町所有のバスです。八千代区の1号車、2号車はリース契約で持っているものです。運営は、バス会社に業務委託をしています。

【会長】物は町の物で、運行は委託という感じで。

【委員】結構、費用がいるんですね。あたり前かもしれないですが、えらいこっちゃなと思います。

【会長】費用は、かなりかかっていますね。その辺を今まで町でやってきたんですが、それでも公平性とかほんと奥のほうからちゃんと園に通えるという条件を揃えるという意見で、頑張って今までやってきていただいているところですね。

【委員】自園運行ということで、バスを借りたり買ったりして園で運営されるんですね。なかなか、子どもたちに負担がかかってこないかなと思いますので、それは、町でお願いしたいと思いますけどね。

【会長】やはり、補助をかなり積んでいただいているということですね。

【委員】子どもは、大事やからね。将来がありますからね。

【会長】安全に運行いただくということで。ありがとうございます。

【委員】通園の人数を見させていただいたら、少ない人数でこの通園バスでは大きいなと感じますけど、園長さん言われたように町民プールがあつて、子育てふれあいセンターのところにバスを駐車され、子どもたちがうれしそうに降りてプールのほうに行っている姿を目にするんですが、やはり、そういうバスに乗る体験などを覚えるのもすごくいいのかなと思いますし、費用面とかは、公私連携をしっかりと取りながらやっていくという形で良いのかなあとと思います。

【会長】費用の面、安全の面で運営される園さんのほうには、かなり負担がかかると思っていますので、町として何か手当をしたり支援したりする計画を立てていただいています。本当にこれで安全に運行できるように願っております。こんな形で進めていくということでもいいですか。ただ、保護者の皆様のご心配は安全性ということですよ。片一方で、プールですとか園外保育に行ったりとかということ、先ほどの教育ビジョンにもありましたとおり、自然にふれ、ひとりというのが多可町の子どもたちになってほしい姿ですので、それを実現できるようにしていただければいいかなと思います。あと、人口動態もありますので、これからどんなふうに運営していくか。それがどんな形が良いか。子どもたちにとってもいいか。安全性の面でもどうかということを考えていただきながら、また、これからの運営を考えていただきたいと思えます。とりあえず2年間、運営してもらつてということで、そこから、会議のところで出てくることもあろうかと思えますが、ちょっと努力いただいて安全、安心で平等な運行をお願いしたいと思えます。あとは、子どもたちの体験が豊になるようにということで是非よろしくお願ひします。個別のことは、何点かできましたけれども、それもちょっと聞いていただくようお願いしたいのですが、個別に相談してもよろしいでしょうか。

【事務局】はい、そうですね。

【会長】何かありましたら、ひとりひとりの保護者の方が相談されるのは、難しいと思えますので、代表の方が是非、意見を拾っていただいて、お伝えいただいたり、繋いでいただいたりしていただきたらと思えます。これからも、よろしくお願ひします。

【事務局】今回の案を定例教育委員会、議会等に提案させていただき、手順を踏ませていただきたいと思えます。バスを新しく購入するとなれば、予算が伴い議会の議決が必要になりますので、お願ひします。

【会長】子ども・子育て会議では、この案で承認ということではいかがでしょうか。

【委員】異議なし。

【会長】越えるハードルがあるようですので、ひとつひとつハードルを越えていただきまして、できるだけ良いように決めていただければと思えます。ありがとうございます。継続して、どんな案でいくかということとか、今後の方向についていろんなことがでると思えますので、今後2年間の会議で決めていけたらと思えます。また、

そのときに保護者の方の声をなるべく出来る限り、反映してしていきたいと思しますので、よろしくお願いします。以上、通園バスについての、協議を終わります。ありがとうございました。今までで、何かありまじりましたら、感想でもいいのですが、ありますか。

【委員】多可町教育ビジョン、多可町教育方針及び主要施策を事前に少し見させていただきましたが、良いことが書いてありました。本当にこのとおりになってほしいなと思いました。学校教育に力を入れられて、頑張られていることに感銘を受けました。ただ、現状としまして、多可町合併当初、人口が2万5千人おられたのが、現在は、2万人を割ってきたということで、少子高齢化が進んできたと思います。多可町は、敬老の日発祥のまちということで、お年寄りを大事にしていかなければいけないのは、当然のことですが、このままいきますと敬労の日を老人の方が自分でお祝することになってしまいはいらないか。ということで、子どもが増えないとこの町は、沈没してしまうのではないか。というふうに思います。教育長さんの開会のあいさつの際に、令和2年度に生まれた子どもたちが66名しかいなかったというふうに言われましたが、コロナで産みひかえはあるかもしれないのですが、合併前の2万5千人が現在、2万人を切っているというのは、厳然たる事実ですので、この辺に関して町としての施策、これは、こども未来課だけではなくて町全体が手だてを打たないのかなと思うのです。この会のテーマではないのですが、生涯学習センターというのが今、建設しようかなというような話がでていそうなんです、やはり、それにつきましても、それが、アスパルの周辺に建設されそうなのがちょっと出ていそうなんです、そこへの利用に関して、加美区、八千代区の奥からそこに行こうとすれば、なかなかアクセスが難しいと思います。そうしたら、今の通園バスもひっくるめてそういうアクセスの手段にしたらどうかとか、あと、子どもが減っているので、小学校、中学校の合併という話もでてきています。それも、含めて生涯学習センターの建設というのも考えていかないと、合併した建物が加美区にできるのか八千代区にできるのか中区にできるのかによって、その生涯学習センターが学校の近くにあれば利用者は当然増えますし、そうでなければ建物だけで、なかなか通いにくいとか、そういうこともあるので、いろんなことをリンクさせて、考えていくようなことをしないと、全部が何かバラバラに動いているような気がして、それは、町長さんの判断なのかもしれないのですが、それと、議会ですね。そういうところに、ここに集まって議論した内容を上げていただいて、なんか町が盛り上がる、人口が増えるような施策等いろんなことをまとめて考えてやっていけないかなと思います。私も八千代区で骨を埋める気でおりますので、沈没だけしないようにという思いはありますので、お願いします。

【会長】ありがとうございます。ここは、教育長にお願いします。

【教育長】貴重な意見、ありがとうございました。少子化の問題はすごく根が深くて、

本当に一人ひとりがどうしていったらいいのか、それぞれのお立場で考えていただく、もちろん行政が一番責任があるんですが、住民一人ひとりが考えていくことが必要かなと思います。それと、即効性がなかなか無いんで、子育てにとって魅力あるまた、子どもたちの学習環境を整えてやるのが、多くの若い世代を呼び込むことに繋がり、安心して子どもが産め、少子化を改善していくことになるのではないかなと思っています。ここでの会議というのも、それに直結する会議だと考えています。ここで、頂いたご意見一つひとつは行政に直接思いを言って頂くことができる場の貴重な機会のご意見だと思いますので、今、委員が言われたことも政策調整会議とか、総合的な施策を調整する会議の場で活用しながら、少しでも魅力あるまちづくりのため、少子化が改善されていく、まちづくりのために生かしていきたいかなと思っています。貴重なご意見ありがとうございました。

【会長】一応あるんですね。調整する会議が。まちづくりからやらないとここだけでは、何もできないので。他の市町でもそうなんですが、まず、産業振興から頑張ってみたいところですね。そこで魅力がないと人も来なければ、子どもも産まれないので、そこから、ちょっとやっていただかないと難しいですね。町長が、ちゃんと町の将来ビジョンを示さないといけないと思うので、子ども・子育て会議でこのような意見が出たと町長さんにお伝えください。保護者の方の切なる願いだと思いますので。子ども・子育て会議では、限られた責任範囲ではありますが、そういったいろんなものも含めながら、施策の方針決定について考えていきたいと思いますので、今後ともご協力いただきたいと思います。他に何かありませんか。審議の方は以上としますので、その他にいきます。

8. その他

【事務局】認定こども園、こども未来課が所管しています学童保育につきましては、兵庫県の対処方針に従いまして、感染防止対策をしていただいた上で、開園、開所をしていただいているところです。ただ、県内のこども園であるとか、学童保育ではクラスターが発生しているのはご存じのとおりだと思いますので、こども未来課としましても家庭への感染防止対策の徹底ということで、教育委員会と各こども園との連名で文書を出したりとか、また、8月24日には、西脇多可医師会と学校関係者が懇談会をもたれましたので、その結果を受けまして、現在のデルタ株というのが、空気感染するぐらい、感染力が非常に強いということを知り、危機感を持ちまして8月25日には、各園長先生宛に対応方針等について確認をさせていただいたところです。また、学童保育につきましても、保護者さん宛にそういった旨を通知しまして、ウイルスを学童保育に持ち込まない、広げないということをお願いの文書を出しているところです。こども園、学童保育に従事いただいている方々については、教育長さんの提案で早い時期にワクチン接種の希望者について町内、町外

問わず希望者を募らせていただいて、高齢者のワクチン接種のキャンセル分を優先的に接種いただいたところです。そういいながら、先ほどの医師会との懇談会では、ワクチンを接種していてもしていないのと同じように対応してください。というふうなことも言われていたようですので、学童保育についても、ワクチン接種していても決して油断しないで、児童についても体温だけでなく、咳などの症状も注意して見るようにというアドバイスがありましたので、そちらのほうもお伝えしたところです。また、子育てふれあいセンター、児童館につきましては、イベント等は中止をしております。ただ、子育てふれあいセンターについては、相談業務は個別で引き続き行っているところです。感染防止対策をしながら、現在のところは利用者を、町内在住者ということに限定をしまして、子育てふれあいセンター、児童館を開館しているところです。以上、簡単ですが報告させていただきます。

9. 閉会

【副会長】 本当に久しぶりの会議でしたので、何か新鮮な感じがしました。また、今後ともみなさんよろしく願いいたします。